九州歴史資料館職員紹介

宮地　聡一郎

ミヤジ　ソウイチロウ／MIYAJI Soichiro

所属／職名

埋蔵文化財調査室　文化財調査班／文化財調査班長

専門分野

考古学

研究分野

日本考古学

【業務・研究内容】

○業務としては、福岡県内遺跡の開発に係る記録保存調査を担当しています。

○研究としては、縄文時代や縄文時代から弥生時代への変化について、ライフワークとして取り組んでいます。

○これまでに、県内の埋蔵文化財保護行政や九州国立博物館での展示業務のほか、派遣職員として福島県で東日本大震災の復興事業に係る埋蔵文化財調査に従事しました。

【主要業績】

●主な著作物等

１．『西日本縄文時代晩期の土器型式圏と遺跡群』雄山閣、2022 年

２．『考古学講義』（共著）ちくま新書、2019 年

●主な論文・学会発表等

１.「縄文から弥生へ - 墓域構成の変化にみるイデオロギー転換 - 」『古文化談叢』第 80 集、2018 年

２．「西日本縄文晩期土器文様保存論 - 九州地方の有文土器からの問題提起 - 」『考古学雑誌』第 99 巻第 2 号、2017 年

３．「玄界灘沿岸部における水稲耕作開始期の遺跡群動態」『九州考古学』第 89 号、2017 年

４．「縄文時代後･晩期の遺跡群動態 - 玄界灘沿岸部における黒色磨研土器期の検討 - 」『古代文化』第 64 巻第 1 号、2012 年

５．「弥生時代開始年代をめぐる炭素 14 年代測定土器の検討」『考古学研究』第 55 巻第 4 号、2009 年

６．「刻目突帯文土器圏の成立(上)(下)」『考古学雑誌』第 88 巻第 1・2 号、2004 年

●主な担当展示

１．特別展「南の貝のものがたり」（九州国立博物館、2006 年）